

新型コロナウイルス感染症変異株（デルタ株）確定について

本県のデルタ株スクリーニング検査（L452R 変異株 PCR 検査）で陽性となった新型コロナウイルス感染症の患者の検体について、保健環境科学研究所で検査（ゲノム解析）したところ、デルタ株（インドで最初に検出された変異株）であることが確認されました。

当該患者については、速やかに入院していただいております。感染拡大防止に取り組んでいます。

変異株についても、3密の回避、マスクの着用、手洗いなどの対策は有効であるため、県民の皆様の感染防止対策への御協力をお願いいたします。

(1) 新型コロナウイルス感染症（デルタ株）の患者について

No.	年代	性別	症状・経過	備考
317	50代	男性	7月中旬 陽性判明 入院中	・ 海外滞在歴なし ・ 県外滞在歴なし ・ 不特定多数との接触なし

●新型コロナウイルス変異株について

ヒトへの感染性・伝播のしやすさ、重篤度、ワクチンや治療薬の効果への影響などの性質が変化した（またはその可能性のある）新型コロナウイルス。デルタ株は特に感染性が強い変異株として流行が懸念されている。デルタ株スクリーニング検査ではL452R 変異の有無を確認するもの。デルタ株スクリーニング検査では、イプシロン株やカッパ株なども検出される。

※今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、患者やご家族のプライバシーに格段の御配慮をお願いします。

熊本県健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：上野、神西、益田、宮本
電話：096-333-2630（内線5935）